

# Qカフェ in 紀の川 開催記録

(ver9 : 2026年3月2日現在)

(参加費無料、要予約、20台程度の駐車場あり)

---

## 第1回 Qカフェ (済) 参加者 30名

タイトル : ウガンダ東部稲作地帯での活動報告

講演者名 : 田中 良 (前青年海外協力隊員)

開催日時 : 2024年3月29日 (金) 午後7時~9時

開催場所 : 紀の川市農村婦人の家 2階大広間  
紀の川市野上150 (川原小学校正門前)

話題概要 : 青年海外協力隊員としてウガンダでの農業支援活動の後、紀の川市で果樹栽培を实践されている田中良さんと国際協力のあり方について一緒に考えてみましょう。

---

## 第2回 Qカフェ (済) 参加者 41名

タイトル : 災害発生時の救護について・日赤ボランティアの視線から

講演者名 : 大林 紀雄 (和歌山県安全赤十字奉仕団委員長)

開催日時 : 2024年5月24日 (金) 午後7時~9時

開催場所 : 紀の川市農村婦人の家 2階大広間  
紀の川市野上150 (川原小学校正門前)

話題概要 : 能登震災における日赤救護活動にボランティアとして参加した経験から、能登の状況とともに、発災時の救護活動と災害への備え、及びボランティア活動についての情報を提供していただきます。

---

## 第3回 Qカフェ (済) 参加者 44名

タイトル : 検視・検案業務と自殺

講演者名 : 阪口 大和 (阪口クリニック院長)

開催日時 : 2024年7月5日 (金) 午後7時~9時

開催場所 : 紀の川市農村婦人の家 2階大広間  
紀の川市野上150 (川原小学校正門前)

話題概要 : 私たちは、TV番組の影響で科捜研という言葉にすっかり馴染んでいますが、実際の現場で活動されている阪口先生から、検視・検案に関する説明と和歌山県の自殺の状況を踏まえて自殺防止についてお話ししていただきます。

---

## 第4回 Qカフェ (済) 参加者 54名

タイトル : チェロの世界

講演者名 : チェロ 福田 浩丈 (福田バイオリン&チェロ教室主宰、きのかわ弦楽合奏団音楽監督、一般社団法人和歌山フィルハーモニー管弦楽団代表理事)

ピアノ 深田陽子 (ふかたによろこピアノ教室主宰)

開催日時 : 2024年8月2日 (金) 午後7時~9時

開催場所 : 紀の川市農村婦人の家 2階大広間  
紀の川市野上150 (川原小学校正門前)

話題概要：チェロとピアノによる、古今東西、様々な名曲を紹介します。皆様と楽しい時間になればと思います。(福田先生は、NHK 朝ドラ：ブギウギの歌合戦場面でチェロ演奏者として登場されました。

---

### 第5回 Q カフェ (済) 参加者 51 名

タイトル：日本語のちから

講演者名：中嶋 悦子 (国際協力および多文化共生のボランティア活動)

開催日時：2024 年 10 月 12 日 (土) 午後 7 時～9 時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2 階大広間  
紀の川市野上 150 (川原小学校正門前)

話題概要：民族はそれぞれに異なる言語を持ち、そのことが民族の多様性を生み出す要因となっています。そのため、各民族にとって、語学教育は、自己のアイデンティティを育てるために最も重要な活動です。ここでは、来日する外国人に対する日本語教育のあり方を通じて、国際交流の本質を考えてみましょう。

---

### 第6回 Q カフェ (済) 参加者 52 名

タイトル：がんを知り尽くそう

講演者名：原田 浩 (京都大学大学院生命科学研究科附属放射線生物研究センター・教授)

開催日時：2024 年 12 月 13 日 (金) 午後 7 時～9 時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2 階大広間  
紀の川市野上 150 (川原小学校正門前)

話題概要：なぜ私たちのカラダの中に「がん」ができるのでしょうか？どの様な治療法があるのでしょうか？がんの理解の深化とがん治療の進化を紹介していただきます。

---

### 第7回 Q カフェ (済) 参加者 43 名

タイトル：原子爆弾の誕生

講演者名：児玉 靖司 (大阪公立大学名誉教授)

開催日時：2025 年 1 月 25 日 (土) 午後 2 時～4 時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2 階大広間  
紀の川市野上 150 (川原小学校正門前)

話題概要：この度、被爆者団体の地道な活動がノーベル平和賞に輝いたことは、大変明るいニュースです。一方で、大国の指導者が、堂々と核兵器を使用する準備があると宣言する暗いニュースもあるのが現状です。核兵器大国が有事において対峙するこの世界の構図は、しばらくは変わらないでしょう。その根源となった原子爆弾を、人類の平和に寄与すべき傑出した科学者が、なぜ一致団結して造るに至ったのか、その過程をもう一度掘り起こして、参加者とともに考えてみたいと思います。

---

### 第8回 Q カフェ (特別企画) 参加者 42 名

タイトル：パネル討論会 私にとって幸せとは何か？

(今年度の Q カフェを振り返って)

司 会：渡邊 正己 (窮理庵)

パネラー：今年度の Q カフェの講師 7 名

開催日時：2025 年 3 月 8 日 (土) 午後 2 時～4 時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2 階大広間  
紀の川市野上 150 (川原小学校正門前)

開催趣旨：1年間7回の講演会に参加していろいろな情報・知識に出会われたと思います。しかし、その知識がどのように使えるかがわからないと感じている方が多いのではないかと思います。そこで、いろいろな人に自分の考えを話していただき新しい知識を自分の知恵として使えるようにしてみませんか？

---

### 第9回Qカフェ (済) 参加者 48名

タイトル：縁起の良い動物たち

講演者名：佐藤 潤 画伯

開催日時：2025年5月31日(土) 午後2時～4時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2階大広間  
紀の川市野上150(川原小学校正門前)

話題概要：佐藤潤画伯は、生物多様性をテーマに絶滅危惧種の動物たちを描く動物画家として活躍されています。作品は「ひとと自然のより良い関係」をテーマに描いてこられました。最近では、動物と吉祥をテーマにしたシリーズや蛤の貝殻を使って「貝合わせ」を制作し、国内外から注目を集めておられます。今回は、作画を通じた自然保護や動物保護への取り組みについてお話していただきます。( <https://junsatoooffice.com> )

---

### 第10回Qカフェ (済) 参加者 45名

タイトル：哲学を哲学する

講演者名：松本 智裕(京都大学大学院生命科学研究科附属放射線生物研究センター教授)

開催日時：2025年7月12日(土) 午後2時より4時まで

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2階大広間  
紀の川市野上150(川原小学校正門前)

話題概要：ヒトの内側を考察するのが哲学、外側を考察するのが自然科学。哲学と数学は、人生や世界、宇宙の本質を論理的な思考によって解明しようとする学問です。学問の分野にはさまざまなものがありますが、哲学は個々の垣根を超えて広く関心を向け、「生きるとはどういうことか」、「人はどう生きるべきなのか」、「人の幸せとは何か」といったヒトの内側に生ずる問いへの答えとなるべき真理を目指す営みです。そして、その答えの正しさを証明する営みが数学といえます。ちんぷんかんぷんな話ですがこの難しい内容を易しく解説していただきます。

---

### 第11回Qカフェ (済) 参加者 45名

タイトル：ストレスを科学するーストレスを感じるのは生きている証拠

講演者名：渡邊 正己 (京都大学・名誉教授)

開催日時：2025年9月12日(金) 午後7時～9時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2階大広間 紀の川市野上150(川原小学校正門前)

話題概要：ひとは、地球上に誕生してから、物理・化学的ストレス、生理的ストレス、精神的ストレスなど、実に様々なストレスにさらされています。そして、最近の生命科学研究の進歩は、ひとのストレス応答の仕組みを次第に明らかにしています。私たちが、ストレスを感じない生活を手にいれることは、そんなに簡単ではありませんが、最近の研究成果によれば、ひとには驚くべきストレス対応能力が備わっていることがわかってきました。今回のセミナーでは、ひとに対するストレスの本来の姿を科学的に理解し、ストレスにうまく対応出来る術を考えてみましょう。

---

### 第12回Qカフェ (済) 参加者 46名

タイトル：遺伝病やがんの研究から日本人の起源を遠望する

講演者名：高田 穰（京都大学・名誉教授）

開催日時：2025年11月8日（土）午後2時～4時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2階大広間 紀の川市野上150（川原小学校正門前）

話題概要：地球上に生命が生まれ36億年といわれます。最初は、とても簡単な生物でしたが進化を続け、様々な動植物が今の多彩な地球生命群を作り上げています。その進化の歴史は、遺伝子（ゲノム）に記録されています。日本列島に暮らす人々の過去もゲノムに記録されていることしょう。高田先生は、遺伝子研究の専門家で、ひとの病気やがんを遺伝子レベルで解析する研究を続けてこられました。その活動を通じて、日本人に特徴的な「お酒がのめなくなる遺伝子」で発症する病気を見つけられました。この遺伝子が発生したのは、いつ、どこでしょうか？今回の講演では、ご自分の遺伝子解析の結果から、国内で新発見がつついている日本人の過去をめぐる研究成果を参照しつつ、日本人が成り立ってきた道筋を推測して紹介いただけるとと思います。

---

### 第13回Qカフェ（済）参加者 40名

タイトル：ヒトとはどんな生き物だろう？

講演者名：仲谷 淳（元和歌山信愛女子短期大学教授・農水省農研機構鳥獣室長）

開催日時：2026年1月23日（金）午後7時～9時

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2階大広間 紀の川市野上150（川原小学校正門前）

話題概要：ヒトとはどのような生き物で、どのように出現してきたのでしょうか。遺伝子DNAが私たちの体を設計しますが、遺伝子の目的は何でしょうか。遺伝子は「生」とともに「死」をも設計するのでしょうか。アンパンマンのマーチに「何のために生まれ、何をして生きるのか、答えられないなんて、そんなのは嫌だ」という言葉があります。みなさんは、どう答えるでしょうか。少し面倒な、でもとても大切な問題について、生物学、中でも生態学や行動学の立場から挑みます。時間があれば、死と死後の世界、さらに宗教と科学の違いなどについても、お話しできればと思います。ちなみに、私の趣味は陶芸や織物などの工芸品の鑑賞や収集、また、山登り（百名山達成まで残り6座）などです。最近、俳句にも挑戦しています。

---

### 第14回Qカフェ（済）参加者 38名

タイトル：放射線リスクコミュニケーションと科学コミュニケーション

講演者名：宇佐美 徳子（大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構、物質構造科学研究所、特別教授）

開催日時：2026年2月28日（土）午後1時30分～3時30分

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2階大広間 紀の川市野上150（川原小学校正門前）

話題概要：コミュニケーションとは、人々が互いの考えや感情、価値観を伝え合う行為であり、言葉だけでなく、身振り手振りや表情、視線といった非言語的な要素も含まれます。言葉による対話（対話型）、文字による伝達（テキスト型）、そして図表や映像を使った方法（ビジュアル型）など、さまざまな手段があります。コミュニケーションは、社会生活やビジネス、人間関係において相互理解と協力のために不可欠です。今回は、日常生活で良好なコミュニケーションを実現するための手段を解説していただきます。

---

### 第15回Qカフェ（次回予定）

タイトル：幸せに学び、働くために

講演者名：唐木 幸子（元・オリンパス(株) 研究開発センター・研究開発統括室・理事・研究統括）

開催日時：2026年5月16日（土）午後1時30分～3時30分

開催場所：紀の川市農村婦人の家 2階大広間 紀の川市野上150（川原小学校正門前）

話題概要：私は医療ライフサイエンス機器に関わる研究開発に長く携わりました。20世紀後半から医学生物学には大きな革新が幾つもあり、学ぶべきことも多く競合の厳しい世界でした。ワークライフバランスという言葉や男女共同参画などの政策もない時代に、

忙しくも充実して勤め上げたことは本当に幸運だったと振り返っています。管理職になって以降は、企業の採用面接や人材育成を通して『人』に向き合う仕事も増えました。そんな中で「ちょっと、おかしいぞ」と気が付いたことがあります。今の若い世代はITスキルや語学力など、昭和の人間から見ても羨ましいほどの能力を身につけ、大学ではキャリア相談、就職対策などの手厚い支援を受けています。目指す仕事の選択肢は驚くほど増えて、働き方も多様です。しかし就職後、果たして自分の適性に合った仕事をしているのか、と悩み迷い、幸せに働けていない人が増えている印象がありました。そして実際、娘の大学受験や就活を身近に見て、溢れる情報こそが若者の不安をかきたてて自信を失わせる根源となっているのではないかと感じています。今日は、こうした公私にわたる自らの経験を通して、若い世代が幸せに充実して学び働くために大切だと思うこと、ひとりひとりが出ることについて、考えを語りたいと思います。

**参加申込：**

参加費は不要ですが参加申込が必要です。

会場準備のためにQカフェ事務局まで参加登録していただくようお願いします。

その際、**(1) 氏名、(2)電話番号、及び (3)メールアドレス**をお知らせください。

すでに、登録をしてくださっている方は、氏名だけをお知らせください。

**Qカフェ事務局：**

担当者：渡邊 喜美子（窮理庵）

電話：090-7106-0493 eメール：msm@rbnet.jp